

広島県立宮島工業高校

広島市立広島工業高等学校 より

質問1 材料の「絶縁キャップ」の個数3個と記載がありますが、これはWV 2 2 3 7 (小スリーブ用) 4個、WV 2 2 3 9 (中大スリーブ用) 1個ではないかという話になりました。各ボックス内は必ず接続点を設ける場合では、この個数ではないかということです。

回答 その通りです。以下の通り訂正願います。よろしく願います。

絶縁キャップ WV 2 2 3 7 4個

絶縁キャップ WV 2 2 3 9 1個

質問2 電気工事部門の課題について、課題図(案)の墨だしのラインが消えているのは意図的に消してあるのか伺いたくメールしました。添付ファイルを付けましたので確認して頂ければと思います。

回答 課題図にない墨入れ線が消えていない場合は、減点とします。縦横墨の交点から10cm残すこと。別添図面①～③が対象

質問3 ケーブルの屈曲半径確認用治具はどの時点での使用が可能か? 「治具にケーブルを沿わせて型取りを禁止する。」となっているので、ケーブルをステッフルで固定した後からしか治具を使用できないということなのか。

回答 「治具については今大会に於いては、作業板上に課題の寸法や器具、タッピングビス及びステッフル等の取り付け位置を割り出すもの、また、屈曲半径確認用として使用してください。」

山口県立下関工業高等学校より

質問1 3月に配信されたQ&Aの質問2についてです。

「縦横墨の交点から10センチ残すこと」との回答が示されておりましたが、添付ファイルの朱線で示したような、他の縦横墨と同じように両端に達するような墨は減点と理解してよろしいのでしょうか。

回答 減点の対象とします。

質問2 同じく3月に配信されたQ&Aの質問3についてです。

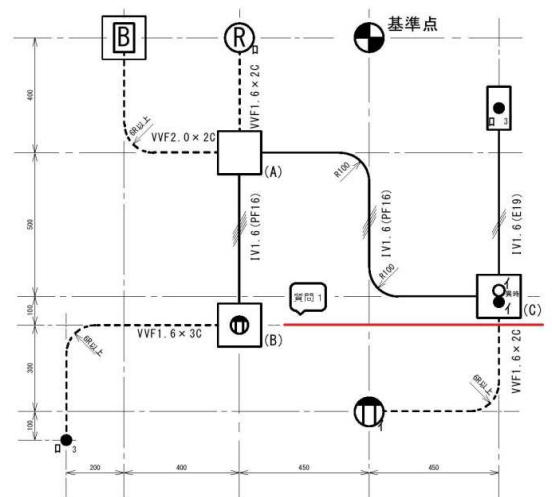
「ケーブルの屈曲半径確認用治具はどの時点での使用が可能か?」の疑問は私も持っておりまして、示された回答では理解することができておりません。

回答 どの段階から使用していただいても結構です。

ただし、ケーブルを治具に押し当て、型取りをすることを今大会では禁止しています。治具は器具・ステッフル等の取付位置を割り出したり、屈曲半径を確認するために使用してください。

平成26年度ものづくり大会 課題図(案)

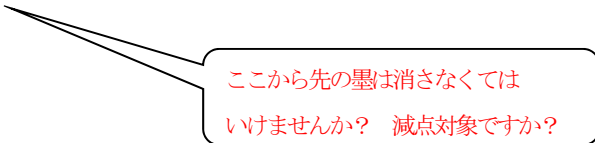
単位: mm



分電盤配置図は別紙参照のこと

質問3 課題は「案」となっておりますが、「確定」ということで準備にあたってもよろしいでしょうか。

回 答 正式なものは、5月初旬に各県に配布いたします。今後、ご質問を受け、不都合が生じる部分がありましたら変更をする可能性もあります。その際には、各県主任の先生をとおしてご連絡をします。現段階においては、確定として取り扱ってください。



ここから先の墨は消さなくては
いけませんか？ 減点対象ですか？